

巻 頭 言

『異文化経営研究』第12号発刊にあたって

『異文化経営研究』(Transcultural Management Review) 第12号を発行することができ、誠にありがたい。本号には、レフリーによる査読を経て選ばれた研究論文一篇と研究ノート二篇に加えて、招聘論文一篇と特別寄稿(Special Contribution)、及び、研究大会の講演抄録二篇が掲載されている。発行に至るまで多大なご尽力をいただいた執筆者や編集者をはじめ、関係者の皆さまに心より御礼を申し上げる。

おかげさまで、2003年に設立された当学会は2015年で12年を迎えることができた。当初は30名程の小さな会として発足したが、現在は400名の会員を擁する学会に成長した。これもみなさまの暖かい応援の賜物である。研究者と実務家のコラボレーションを重要な柱のひとつにしていたが、海外勤務の経験を生かし、大学に転職した会員も複数おられるなど、実際に成果が上がっていることは喜ばしい限りである。

2015年を振り返ると、特記すべきことがいくつかある。ひとつは長年、当学会に貢献された方を対象とするフェロー制度が発足し、その第一号として、フェローの称号が本学会発起人の1人に授与されたことである。もうひとつは、新たな地域部会として、北陸部会が発足し、その設立総会と第1回研究会が富山で開かれたことである。この地域は教育熱心な土地柄でポテンシャルが高いが、これまでこの地域に部会を置いている学会はほとんどなかった。今後の発展が楽しみである。また、インターナショナルセッションも軌道に乗り、欧米や豪州をはじめ、サウジアラビアやアラブ首長国連邦からも参加者がおり、毎回、活発な討論と交流が行われている。

世界がますます混迷を極める昨今であるが、異なる価値観の人々が対立するのではなく、融和することができるように、また、人と自然が共存することができるように、会員の皆様とともに歩んでいきたいと切に願っている。

今後ともご支援を賜りたく、お願い申し上げます次第である。

2015年12月

異文化経営学会 会長

馬 越 恵 美 子